



All Rikkyo Tennis

セントポールテニスクラブ会報

発行所
セントポールテニスクラブ

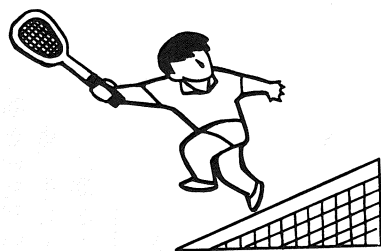
発行人 伊藤久幸
井上勇人

男子念願の3部昇格、女子無念の4部3位!!



「八年ぶりの昇格」
十七年度の関東大学テニスリーグは、例年通り九月中旬より開催された。男子は、三部で全勝優勝し、入れ替え戦に臨んだ。対戦相手は一昨年と同じく順天堂大学であった。当日は雨模様で千葉県の白子に移動しての入替え戦となったが、多くのOB・OGが見守る中、5-0(5ポイントで打ち切りのため)で勝利を収め、八年ぶりに念願の三部昇格を果たした。これは現役一人一人の努力、そして監督の熱い指導の賜物である。今年のこの結果は喜びとして受け止め、来年は是非二部昇格を実現させてもらいたい。

女子は、昨年の四部降



格の雪辱を果たすべく健闘した。しかし結果は、聖心女子大学と三勝二敗で並んだが、直接対決で3-4で負けているため三位となり、残念ながら入れ替え戦のキップを手に入れることができなかった。あと一步というところであったが、来年こそは三部復帰を果たしてもらいたいものである。



「部長からの挨拶」
テニス部長 淡路 剛久
現役の選手諸君が頑張ってくれている中で1年が経ちました。セントポールテニスクラブの皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。

大学が社会の大きな変化の波を受け、変革の必要という大きな挑戦を受けていることを昨年のARTで申し上げましたが、立教大学も遅まきながら変革の道を歩んでいます。池袋キャンパスでは、法科大学院の開設と11号館の建設に続いて、06年度には、経営学部が開設され、また、新座では、現代心理学部の開設に向けて新しいキャンパスの姿が現れつつあります。こ

「自主性を持つこと」
男子監督 藤井 孝信
「今年こそ昇格」を合言葉によくやく目標をクリアしました。1歩前進した気持ちです。

2年前、4部で全勝優勝し、2週間後に3部6位の順天堂大学との入替戦。誰もが昇格と思ったところに異がありました。4対5で惜敗。しかし、負けは負け。敗戦の重みがずつしりと我々を襲いました。何が足りないのかは明確でした。そして

のような新たな活気の中で、おそらくテニス部を志す新入生も増えてくることでしょう。

そういった中で、本年、男子が念願の昇格を果たしたことは、嬉しい限りでした。本来は昨年のはずだったなどと悔しい思いをした昨年のことが去来しますが、今年、見事に宿願を果たしてくれました。野村主将をはじめとする幹部のご苦勞をねぎらい、選手諸君一同の活躍を心より讃えたいと思います。女子は部員数が増えないなか、いま一步というところまで行き、よくがんばってくれたと思います。久木田主将をはじめとする幹部および選手諸君の頑張り、心より敬意を表したいと思います。

来季はきつと希望の年となるでしょう。新主将の五味君、福田さんと共に、選手諸君は必ずや昇格の道を進み続けることでしょう。監督、コーチ、OB・OGの皆様方のご指導、ご支援に心よりお礼を申し上げます。

昨年からは更に状況悪く、戦う前から負けていました。監督の責任問題にもなり兼ねない事態。「いくら兼力が整っても勝てないのか」とかなりの期間、大学テニスとはどうあるべきかについて悩みました。出た結論は、やはり自主性。単純な答えですが、時間がかかりました。他大学のように抜群の環境の中で学校から雇われた監督・コーチの指導のもと、技術を磨くことが絶対条件かと。今の学生達は、そのような環境が当たり前と思っている人は少なくありません。テニスウェアを着て、ラケットを持ってコートに行けば、当たり前のようにネットが張ってあり、ボールがあり、おまけに教えてくれるコーチがいるわけです。そんな環境は学生達を本当に強くするのでしょうか？

今年の学生は武市コーチの加入で目の色が違っていました。少しずつ自分達のやるべきことを理解したようです。勝つことの喜びを学生、OBが一体となって分かち合える立教大学テニス部って本当に素晴らしいですね。まだまだ課題は山積みではありますが、来年は2部を目指します。

昨年から申し上げているように、勝利への執着心を植え付け、真に強い立教大学テニス部の復活を目指している戦う集団を作りたいと思います。最後に、日頃より暖かいご支援をいただいたお礼です。OB・OGの皆様と共に、今後も引き続きご支援をお願い申し上げます。

「監督挨拶」
女子監督 金谷 美幸
この度、女子部の監督を務めさせていただくことになりました。平成十一年卒業の金谷です。女子部が始まって以来の女性監督と言うことで、戸惑いやプレッシャーもありますが、皆様のお力をお借りして、出来る限りのサポートをしていきたいと思っております。

私が入部した当時女子部は、五部に所属しておりました。四年間で一部まで昇格し、喜びしか知らなかった私が、卒業して初めて、降格の悔しさを知りました。こんなにも悔しいものなのか、と思うと同時に、「負ける悔しさを知ったからこそ、また強くなれる。ここからが女子部の本当のスタートなのだ。」と思つたことを今でも鮮明に覚えております。今年のリーグも三部昇格の想いは届かず、四部残留と言う結果に終わりました。来年こそは、昇格の喜びを皆で味わいたいと思います。昇格の喜びや難しさ、また負けることの悔しさ両方を経験したからこそ伝えられることを、精一杯伝えていきたいと思っております。そして、現役の皆さんは、立教大学テニス部に所属して良かったと思つて卒業して欲しい、また卒業後はOB・OGとしてコートに帰って来たいかなるような部活を作りたいと思います。

最後になりましたが、まだまだ未熟者ですが、皆様のご支援、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

昨年からは更に状況悪く、戦う前から負けていました。監督の責任問題にもなり兼ねない事態。「いくら兼力が整っても勝てないのか」とかなりの期間、大学テニスとはどうあるべきかについて悩みました。出た結論は、やはり自主性。単純な答えですが、時間がかかりました。他大学のように抜群の環境の中で学校から雇われた監督・コーチの指導のもと、技術を磨くことが絶対条件かと。今の学生達は、そのような環境が当たり前と思っている人は少なくありません。テニスウェアを着て、ラケットを持ってコートに行けば、当たり前のようにネットが張ってあり、ボールがあり、おまけに教えてくれるコーチがいるわけです。そんな環境は学生達を本当に強くするのでしょうか？

第十回総会 開かれる

去る六月十八日(土)、セントポールテニスクラブ第十回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席をいただき、セントポール会館にて開催されました。会計報告、予算、事業計画など慎重な審議がおこなわれました。小西会長、原田理事長より御挨拶をいただき、平成十七年度のクラブ運営がスタートされました。

総会後は現役学生幹部も交えての和やかな懇親会が開かれました。

以下に総会の決定事項をご報告いたします。



会長挨拶

S 37年卒 小西 一三

OB、OG会員の皆さん、お元気に活躍のことと存じます。早速ですが嬉しいニュースを最初に報告させていただきます。男子が「3部に昇格」しました。オメデトウ。9月23日夜九州国際テニスクラブで男子部武市コーチに偶然会って夕食を一緒にする機会が出来た。その席で現在の立大テニス部は2部の実力があり、まずと「キッパリ」言ったので同席の法大西村氏九州協会理事長、明大坂田コーチ、早大崎口九国支配人、佐賀ウインブルドン緒方副支配人、全員が4部にいるのがおかしいと言ってくれた。

武市コーチは翌日一橋大戦応援の為仕事を切上

理事長挨拶

S 54年卒 原田 豊

セントポールテニスクラブ会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。早いもので、私の理事長としての役目も4年目を迎えております。石の上にも3年と申しますが、もう一年加算した今年のリーグ戦にて男子部が悲願の3部昇格を果たしてくれました。OB・OGの皆様のご支援に現役と共に厚くお礼申し上げます。昇格の瞬間をこの目で見届ける事ができ、大変嬉しく思っております。

やはり現役が強くならず上への復活が何よりもセントポールテニスクラブの活力になります。各会合等で様々なご協力、ご寄付をお願いさせていただきます。皆様のご理解と多くの援助をいただいた事が3部昇格、そしてこれからの躍進に繋がると信じております。まずは今年が立教テニス復活の元年と位置付け、現役への充実したサポート体制を確立させ、また大学に對しても体育会テニス部としての環境の確立を強く要請していきたいと思っております。

会長挨拶

S 37年卒 小西 一三

OB、OG会員の皆さん、お元気に活躍のことと存じます。早速ですが嬉しいニュースを最初に報告させていただきます。男子が「3部に昇格」しました。オメデトウ。9月23日夜九州国際テニスクラブで男子部武市コーチに偶然会って夕食を一緒にする機会が出来た。その席で現在の立大テニス部は2部の実力があり、まずと「キッパリ」言ったので同席の法大西村氏九州協会理事長、明大坂田コーチ、早大崎口九国支配人、佐賀ウインブルドン緒方副支配人、全員が4部にいるのがおかしいと言ってくれた。

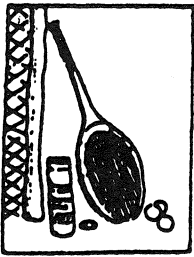
武市コーチは翌日一橋大戦応援の為仕事を切上

理事長挨拶

S 54年卒 原田 豊

セントポールテニスクラブ会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。早いもので、私の理事長としての役目も4年目を迎えております。石の上にも3年と申しますが、もう一年加算した今年のリーグ戦にて男子部が悲願の3部昇格を果たしてくれました。OB・OGの皆様のご支援に現役と共に厚くお礼申し上げます。昇格の瞬間をこの目で見届ける事ができ、大変嬉しく思っております。

やはり現役が強くならず上への復活が何よりもセントポールテニスクラブの活力になります。各会合等で様々なご協力、ご寄付をお願いさせていただきます。皆様のご理解と多くの援助をいただいた事が3部昇格、そしてこれからの躍進に繋がると信じております。まずは今年が立教テニス復活の元年と位置付け、現役への充実したサポート体制を確立させ、また大学に對しても体育会テニス部としての環境の確立を強く要請していきたいと思っております。



17年度も会員の皆様から年会費、激励会ご寄付を沢山戴きました。これもOB、OGの皆様が日々健康に過ごされ活躍あつてのことでございます。今後とも尚一層のご支援ご協力をお願いいたします。

皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成17年度役員

氏名	卒年	役職
小西 一三	37	会長
川上 浩子	40	副会長
出口 誠之	42	顧問
林田 千史	43	顧問
浅見 豊	49	顧問
淡路 剛久	54	テニス部 部長
舟田 正之	54	テニス部 副部長
原田 豊	54	理事長
秋元 英晴	54	副理事長
秋吉 裕子	52	理事
倉光 哲明	42	理事
原田 正宏	42	理事
鈴木 典之	53	理事
鷺田 厚子	55	理事
金原 節子	55	理事
山下 幸美	57	理事
伊藤 裕美	57	理事
坂井 人信	58	理事
井上 孝子	59	理事
藤井 良之	60	理事
藤原 誠爾	60	理事
白寄 誠	H2	理事
金谷 美幸	H11	理事
八木下 紗絵子	36	監事
梅田 憲司	50	監事
武市 広治	H1	男子部担当 新任
大熊 隆史	H10	男子部担当
清 隆一郎	63	女子部担当
嶋中 暁子	H11	女子部担当
山崎 真由美	H12	女子部担当
平原 三子	H14	女子部担当
吉井 悠子	H16	女子部担当 新任

平成17年度事業計画書

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

日付	内容
5月18日	第1回理事会(セントポール会館)
6月12日	関東高校選手勧誘視察(東京・有明)
6月18日	第10回定期総会(セントポール会館)
6月18日	100周年準備委員会
7月20日	第2回理事会(セントポール会館)
8月2日	インターハイ選手勧誘視察(千葉県)
8月	リーグ戦激励会
10月	第3回理事会(セントポール会館)
10月	100周年準備委員会
11月23日	小・中・高・大 合同練習会
12月4日	All Rikkyo Tennis 発行
12月4日	納会(第一学食)
2月	第4回理事会(セントポール会館)
2月	100周年準備委員会

平成17年度会計予算

(自平成17年4月1日～至平成18年3月31日)

科目	予算額	摘要
1. 年会費	2,500,000	10,000×201 7,000×70
2. 総会・納会・会費収入	700,000	総会・納会・激励会出席者会費
3. 雑収入	300,000	寄付金 広告費 受取利息等
当期収入合計	3,500,000	
前期より繰越金	235,229	
収入合計	3,735,229	

支出の部

科目	予算額	摘要
1. 現役強化費	1,900,000	
①ボール代	(450,000)	男子部 300,000 女子部 150,000
②合宿援助	(400,000)	男子部 200,000 女子部 200,000
③コート維持費	(50,000)	砂代他
④勧誘費	(200,000)	インターハイ(千葉県)視察等
⑤その他	(800,000)	監督コーチ交通費、コートレンタル費、エントリー補助費
2. 会合費	800,000	総会・納会・激励会費
3. 通信費	400,000	案内通知等
4. ART作成費	80,000	ART作成費
5. 諸会費	40,000	OBクラブ、監督部長会、合同練習会等
6. 雑費	100,000	コピー代 封筒代 文具代等
7. 手数料	50,000	年会費自動振替手数料 振込料
8. 100周年準備委員会	100,000	立教テニス部100周年準備費
9. 予備費	50,000	その他不足分補助 慶弔費
当期支出合計	3,520,000	
次年度繰越金	215,229	

平成16年度事業報告書

(自平成16年4月1日～至平成17年3月31日)

日付	内容
5月19日	第1回理事会(セントポール会館)
6月12日	関東高校選手勧誘視察(栃木県)
6月19日	第9回定期総会(第一学食)
7月21日	第2回理事会(セントポール会館)
8月2日	インターハイ選手勧誘視察(岡山県)
9月4日	リーグ戦激励会(焼肉 風風亭)
10月20日	第3回理事会(セントポール会館)
10月23日	東京大学庭球部創部100周年記念式典出席
11月23日	小・中・高・大 合同練習会
12月5日	All Rikkyo Tennis 発行
12月5日	納会(ホテルメトロポリタン)
2月16日	第4回理事会(セントポール会館)
3月5日	同志社大学体育会テニス部創部100周年記念式典出席
3月13日	明治大学体育会硬式庭球部創部100周年記念式典出席

平成16年度決算報告書

(自平成16年4月1日～至平成17年3月31日)

科目	予算額	決算額	摘要
1. 年会費	2,700,000	2,372,000	10,000×189 7,000×68 6,000×1
2. 総会・納会等会費収入	700,000	566,000	総会・納会・激励会出席者会費
3. 雑収入	300,000	743,030	7-ト広告費、激励会、寄付金等
当期収入合計	3,700,000	3,681,030	*雑収入には立教高校湯川宜雄先生より
前期より繰越金	539,307	539,307	寄付金300,000円が含まれています
収入合計	4,239,307	4,220,337	

支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
1. 現役強化費	2,050,000	2,070,994	
①ボール代	(400,000)	(485,100)	男子部 377,496 女子部 107,604
②合宿援助	(500,000)	(440,000)	男子部 240,000 女子部 200,000
③コート維持費	(50,000)	(30,660)	砂代
④勧誘費	(500,000)	(421,414)	インターハイ(岡山)視察等
⑤その他	(600,000)	(693,820)	コートレンタル費、監督費、エントリー補助費
2. 会合費	800,000	956,331	総会・納会・激励会費用等
3. 通信費	400,000	355,362	案内通知等
4. ART作成費	100,000	80,000	ART作成費
5. 諸会費	40,000	36,000	OBクラブ分担金等
6. 雑費	100,000	177,121	HP作成費用、コピー 封筒 文具代等
7. 手数料	50,000	69,300	自動振替手数料、振込料
8. 積立金	200,000	0	コート付帯設備準備金
9. 予備費	200,000	240,000	慶弔費、明治、同志社100周年記念
当期支出合計	3,940,000	3,985,108	
次年度繰越金	299,307	235,229	

財産目録

科目	金額	摘要
流動資産		
現金	69,222	
普通預金	166,007	
小計	235,229	
固定資産		
定期預金	400,929	
資産合計	636,158	



男子 平成17年度 4部リーグ戦結果

	立教	上武	横浜市立	城西	千葉	一橋	勝敗	順位
立教大学	-	5-4	8-1	6-3	7-2	9-0	5勝	1
上武大学	4-5	-	7-2	8-1	4-5	7-2	3勝2敗	2
横浜市立大学	1-8	2-7	-	5-4	5-4	4-5	2勝3敗	3
城西大学	3-6	1-8	4-5	-	5-4	5-4	2勝3敗	4
千葉大学	2-7	5-4	4-5	4-5	-	7-2	2勝3敗	5
一橋大学	0-9	2-7	5-4	4-5	2-7	-	1勝4敗	6

入れ替え戦 立教大学 5-0 順天堂大学

女子 平成17年度 4部リーグ戦結果

	成蹊	聖心女子	立教	成城	東京女子体育	茨城	勝敗	順位
成蹊大学	-	4-3	5-2	5-2	5-2	7-0	5勝	1
聖心女子大学	3-4	-	4-3	4-3	2-5	5-2	3勝2敗	2
立教大学	2-5	3-4	-	4-3	4-3	7-0	3勝2敗	3
成城大学	2-5	3-4	3-4	-	5-2	5-2	2勝3敗	4
東京女子体育大学	2-5	5-2	3-4	2-5	-	5-2	2勝3敗	5
茨城大学	0-7	2-5	0-7	2-5	2-5	-	5敗	6



平成17年度リーグ戦結果

「主将」挨拶

男子主将

野村 陽介



今年度、主将を務めさせていただきました。社会学科4年の野村陽介です。十月九日、僕が立教大学体育会テニス部に入学して以来、四年間追いついてきた瞬間が僕達に訪れました。三部昇格に訪れました。三部昇格の道程は決して平坦なものではありませんでした。リーグ第一戦から入れ替わり戦まで、一瞬一瞬のバリエーションが結果を左右する厳しい戦いでした。その中で勝ち取った昇格は、一昨年、昨年の雪辱を晴らすために日々邁進してきたチームとしての集大成だと思っております。僕は主将を務めるにあたってチームとして強くやることを目標としてきました。それは、「個」のレベルアップと「個」のレベルアップにも活かすことのできるチーム作りを収斂させる結果を残すことができたのは、僕達の日々の活動を支えて頂いた御多忙の中、御指導して下さった藤井監督・武市コーチ・大熊監督・武市コーチ・大熊監督・武市コーチの素直なアドバイスを頂けたこと、そして、仲間達のおかげだと思っております。この三部昇格は、O.B.の皆様と現役の想いが一つになった形となつて現れたいと思っております。素直な先輩方、仲間、立教大学体育会テニス部で四年間は今まで人生の中で最も濃密な経験をした。この四年間、切磋琢磨し合った仲間、末筆となりませんが、藤井監督、武市コーチ、大熊監督、O.B.の皆様方には、自身として至らない点も多々ありましたが、指導して頂き、心より感謝しております。心より感謝しております。四年間、本当に有難うございました。

「主将」挨拶

女子主将

久木田 安奈



当初、私は主将には威厳とカリスマ性が不可欠だと思っていたので、そのイメージに、ほど遠い自分には相当悩まされた。しかし、「元気のチーム」という私の単純な理想が私なりのリーダーシップのとり方を生み出したと思っております。主将として自分の生活の何よりも部活を一番大切にしたい。毎日、一年かけて創り上げた元気のチームは私の誇りです。しかし肝心のリーグにおいては、「できる事なら、もう一度やり直したい」正直それが本心です。私は今でもふと気が付くと、いつもリーグを思い返してしまいます。予想が外れた相手のオーダー用紙を開いた瞬間、負けた試合の最後のポイント、こんな結果で終わらなくて声が出なかった。最終戦の陣、情けない自分とやりきれない悔しさ。鮮やかに蘇ってきて頭から離れません。私はこの気持ちから学んだ事を糧にして、「昇格」という結果を出せなかった今の自分を、今後の人生で必ず挽回します。そして私達が叶えられなかった夢は後輩達が実現してくれたいと信じています。サポートは、何でもできる。いつまでも部活に燃え続けたいと思っております。私の大学生活のすべてに感謝の気持ちでいっぱい。

「顧みて」

四年

山田 英一



3部昇格から一ヶ月。後輩からARTの依頼。ふと思いつくのは目の前を過ぎゆく記憶……先輩、仕事、練習、授業、合宿、リーグ戦、ポーター、明立、一発芸、同立、罰ラン、予選、他大学コート、電車、富士見夕日、暗闇、水まき、式次第、公式戦初勝利、合同練習会、総会、年賀状、校歌、新歓、後輩、想い、葛藤、リーグ戦初勝利。そして、休部。感謝。そして、復部。先輩、野村、話し合い、夏関、恐れ、確信、そして、昇格。部から離れて、普段の生活を過ごす今、これらの経験から学んだ事を超える何かには出会えていません。いかに部活が自分にとって大切なものだったかを痛感しています。授業に向かう途中、コートを通ると、来年の2部昇格と個人の目標達成のため動き出している後輩達を目にします。彼ら彼女らにも部でしか得る事のない経験をとくさんしてもらいたいと思っております。最後に、我儘な私を心配して下さった先輩方。迷惑をかけた野村、後輩。お世話になったO.B.・OGの方々。本当にありがとうございました。

「リーグ戦を終えて」

女子主務

磯崎 美希



入部してから去年までの三年間、私達はずっと下ばかり見てリーグ戦を戦ってきました。今年こそは昇格、と意気込んで臨んだ今年のリーグ戦でしたが、正直不安でいっぱいでした。対抗戦で同部校に勝つという結果を残し皆の期待を高めていく一方で、リーグ戦での制約があるオーダーで勝負がなかったから自信がなかったからです。そんな中第一戦の成城戦を苦戦しながらも勝ったことは、本当にうれしかったことでした。その後二戦は負けてしまいましたが、三勝二敗で三位という結果に終わりましたが、最終戦まで昇格を目指して戦えたことは本当に良かったです。しかし、個人的には暑い夏でした。七月に膝を痛めて練習が思うようにできなかつたり、学連で練習にも参加できない日が多くあり、悔しい思いをたくさんしました。その中で聖心女子戦に出られたことはとても大きなことでした。自分のせいでチームの負けが決定的になってしまつたという悔しい結果になってしまいました。結果が、今まで知らなかつたが、今まで知らなかつた選手の手が分かった。選手に支えられていたことを実感でき、最高の経験ができたと思っております。最後に、私を支えて下さった監督、コーチ、O.B.・OGの方々、どうもありがとうございました。

「リーグ戦を終えて」

女子副将

根岸 芳恵



昨年の四部降格という悔しさをバネに、一年間、昇格を目標にして練習を重ねてきました。私にとつて最後のリーグ戦。そして不安と緊張の中、三戦が終わり一勝二敗という時点でも、四部はこれからの勝敗によつてはどうか入れ替え戦にかかわらないといった状況でした。「絶対に立教が入れ替え戦にかかわる三部昇格する」という気持ちでいっぱいでした。全員が同じように思っていたと思います。そして四戦・五戦と勝つたものの、結果は三部三位。悔しくて仕方ありません。

日東の防火水槽

ボックスカルポート・ニューウォールコン
BiG-u・ロングu・緑化ウォール

株式会社 日東

三町 令子・原田 正明 (S42年卒)

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-7-1
TEL 0492-83-5181(代)
FAX 0492-83-5186

でも、何よりこの九人のメンバーでリーグ戦を戦えたことを、本当にうれしく思います。そして、素晴らしい仲間に出会い、同じ目標を目指し、辛いことも楽しいことも一緒に経験できたのは、テニス部に入学したからこそです。入部して本当によかったと思っております。そして、私達を支えてくださった監督、コーチ、O.B.・OGの方々には心より御礼申し上げます。練習にも試合にも、たくさんの方々に足を運んでいただきました。赤い昇格Tシャツを着て大声で応援してください。私たちは、メンバーの少ない私たちにとつて大きな精神的支えとなりました。ありがとうございます。もう現役ではなくなつてしまつた今、三部昇格という願いを後輩に託し、私もこれからの立教のためにサポートしていきます。

女子副将
戸澤 夕葵



本年度、副将を務めさせて頂くことになりました。観光学部観光学科二年戸澤夕葵です。宜しくお願致します。幹部になつたという事を積極的に受け止め、主将、主務についていき、また、補佐していきけるよう努力していきたいと思います。四年生が引退した今、部員が六人という少人数のため、本当に一人一人が大事な戦力であり、チームメイトであることを常に考え、私自身はもちろん、チーム全体の戦力強化に貢献できるよう努めていきたいと思います。今年のリーグ戦では、最終戦まで入れ替え戦にかかる可能性があったという混戦のリーグとなりました。結果、四部残留という残念な結果となりました。思いをしまし、悔しい思いをしまし、僅差で負けただけに、昇格するという事は本当に大変なことだということを改めて思い知らされました。しかし、この結果を前向きに考えると、まだやるべきことがたくさんあると思います。個人の實力、チームの状況を見つめ直し、来年の三部昇格に向けてがんばりたいと思います。私が入学し、二回目のリーグでしたが、一年で降格し、二年で残留したので次の年は必ず昇格できると信じ、日々練習に励みたいと思えます。最後にありますが、リーグはもちろん、個人戦の方でも結果を残したいと強く思っておりますので、これからもご支援、ご指導の程宜しくお願い致します。

女子副務
松本 奈穂子



本年度、副務を務めさせていただくことになりました。文学部心理学科二年松本奈穂子です。宜しくお願致します。大学からテニスを始めてもうすぐ二年がたとうとしています。体育会というものを何も知らずに入部した頃は、慣れない環境に戸惑いも多く悩んだこともありましたが、先輩方や同期に支えられ、乗り越えることができた。そして四部降格という残念な結果となった初めのリーグ戦から一年間、新しいチームで三部昇格を目指して日々練習に励んできました。そして臨んだリーグ戦でしたが、惜しくも四部三位で残留という結果となりました。最終戦後、声を出して泣いていた先輩方の姿とともに昇格の難しさを改めて実感したことは今でも思い出されます。今までも一緒に活動してきた四年生が引退してしまふのは寂しいという気持ちもありますが、新たなチームで部活動を引き継いでいくという事に対して期待の気持ちもあります。もちろん幹部として部活動に対する責任も大きくなっていくので不安もありますが、部のために何ができるのかという事を常に考えて活動し、技術的にも成長していきたいと思えます。現在、部員六名と少人数ではありますが、来年のリーグ戦に向けて頑張っていきますので、今後ともご指導宜しくお願い致します。

新入生紹介

1年
大神 裕作



経済学部経営学科1年大神裕作です。私は中学・高校と吹奏楽をやっています。体育会とは無縁の日々を送っていました。しかし、母の影響でテニスを習い始めてから次第に体育会で真剣にテニスをしてみたいと思うようになり、先ず文化部からいきなり体育会への所属を戸惑いますが、体育会テニス部メンバーと苦難を乗り越えていきたく思います。初めて練習に参加したとき、私は先輩方の高い技量に唖然としてしまいました。これから続けていく上で自分はこの先輩方についていけるのだろうか？ハードな練習についていけるのだろうか？と不安になりました。しかし、同期の仲間、更には先輩方が技量、メンタル面、知識などいろいろな面で援助をしてくださる、私ははげしいながらもここまで続ける事ができました。当面の目標は、自分のプレースタイルの確立に尽力していきたいと思えます。サブ&ボレーで相手にプレッシャーを与えつつ、ストロークでも前へ出る気持ちを忘れずに、相手にチャンスを与えないプレーをしていきたいです。OBの方々の期待に応えられるよう、そしてなにより自分のため一生懸命部活に励んでいくので、これからもどうぞよろしくお願致します。

1年
柏原 啓大



経済学部経営学科一年の柏原啓大です。私は中学では卓球部に、高校では水泳部に所属していました。このようにテニスとは全く関係のない日々を送っていた私ですが、高校二年生のときのある夜にウインブルドン試合の中継をテレビで見るとテニスに魅かれ、私もテニスをやってみようと思つたのがテニスを始めるきっかけとなりました。そして私は水泳部に所属する傍ら、週一回だけテニススクールに通い始めて、大学に入学したら必ずテニスができる環境に身を置こうと考えるようになりました。そこで入ったのがこの体育会テニス部でした。私が入学して、早くも七ヶ月が経過しました。入部当初の實力は、初心者同然のもので周りの人たちの実力差にただただ困惑し、迷惑ばかりかけてしまいました。また仕事面でも怒られてばかりで、何度か退部を考えました。しかしそれらのことを同期の仲間と乗り越えることにより、絆は深まったし、精神的にも少し大人になりました。今後は、今までの練習で得た「根性」を胸にこれから毎日精進して行きたいと思えます。そして試合ではひとつでも多く勝ち上げられる選手になりたいです。私たちが毎日練習に集中できるのはOBの方々の多大なるご尽力のおかげです。今後とも支援してください。OBの方々の感謝を忘れず日々忘れず練習に励みたいと思えます。

1年
田村 浩紀



経済学部経営学科一年田村浩紀です。高校の時からテニスを始め高校三年間打ち込んできましたが、燃え尽きる事ができず立教大学の体育会テニス部に入る事を決意しました。入部してからは七ヶ月が過ぎました。最初はどのようにしてこんなに体力がないのだろう、なんてきつい練習なのだろうと思うこともありましたが、先輩方の指導、トレーニング、夏の練習を乗り越えた事により今では日々の練習は少しのことでは動じない根性がつきました。今年私は三部に昇格しました。私はサポートとして働き昇格して嬉しい反面、来年は自分もレギュラーとしてあのリーグ戦の舞台に立ちたいと思えました。来年の目標は二部昇格です。今年よりも厳しい戦いが続くであろうことはわかっています。今年の練習で得た「根性」を胸にこれから毎日精進して行きたいと思えます。そして試合ではひとつでも多く勝ち上げられる選手になりたいです。私たちが毎日練習に集中できるのはOBの方々の多大なるご尽力のおかげです。今後とも支援してください。OBの方々の感謝を忘れず日々忘れず練習に励みたいと思えます。

1年
永田 佳彬



湘南高校出身、経済学部会計ファイナンス学科一年の永田佳彬です。私は小学校の頃2年間テニスをやっていたが、中学生の時に諸事情で3年間テニスから離れていました。しかし、どうしてもテニスをもう一度本気でやり直したいと思い、高校でテニスを再度始めました。立教大学に合格した時もその気持ちに曇りは無く、大学でも本気でテニスをしようと思ひ、体育会テニス部に入りました。入部当初は練習の過酷さについていけず、また諸先輩方の技量レベルに圧倒され、先のことを考えると不安でした。しかし、そんな私にも先輩方は暖かく接してくれ、今までも続けてくれることができました。そして、今年3部昇格という喜びを味わい、テニスの素晴らしさや楽しさを再認識しました。今は一日でも早く先輩方のようなプレーができるよう練習を重ねる日々です。また、至らぬところばかりでレギュラーには程遠い私ですが、いつの日か今年味わった入れ替え戦に今度は選手としてコートに立てるよう精進していきたく思えます。そして、テニスを通して人間性を育んでいきたいと思ひます。私達が毎日テニスに集中できるのはOBの方々の常日頃の多大なる御支援のおかげです。そのご期待に応えられますようにこれからも頑張りたいと思ひます。

1年
根本 夏海



法学部法学科一年の根本夏海です。私は、中学のとき、サッカー部に在籍していたのですが、それは決して本意ではありませんでした。何故なら、私はその時分よりテニスをやりたかつたからです。しかし、私の中学は市立で硬式テニス部が無かつたために、高校に進学した際には絶対にテニス部に入るという固い決意を抱きました。三年間を過ごしたのですが、私の進学した高校にも硬式テニス部はありませんでした。このことに愕然とした私は、他の部活動で活動する気にもなれず、ただただテニスに對するどうしようもない気持ちだけが募っていく日々が続きました。立教大学に入学し、体育会硬式テニス部に入部してからは七ヶ月。今、やっと私は自分の念願を叶えることができ、最高のモチベーションをもち、日々の部活を過ごしています。しかしながら、ここがゴールではありません。私にとっての目標は、立教大学体育会テニス部の一員として、恥じない選手として成長することであり、最終的には関東学生やインカレとなることです。まだまだ未熟の至りですが、その目標に邁進できる環境を支えてくださっているOBの方々の御支援に頭が下がる思いです。これからもOBの方々への感謝の念を忘れず、自分の目標を達成するために、最大限努力をしていきますので、よろしくお願致します。

1年
林 大祐



観光学部観光学科一年林大祐です。小学生のとき両親と遊びでテニスするくらいで、ボールを打つだけでも十分面白く強くなるなどという感情は全くなくテニスをしていた。しかし学院練習会に参加したことが僕の考えを大きく変えました。大学生、高校生の打つボールのスピード、コース、迫力に度肝を抜かれたことを今でも鮮明に覚えています。あの時からテニスが上手になりたい、強くなりたいという感情が生まれたのだと思ひます。中学、高校と立教庭球部でテニスに對して本気で取り組み、団体戦の良さ、テニスの難しさ、勝利することの難しさ、勝利したときの喜びを嫌というほど思い知りました。大学では昔から足が速かつたため陸上部に入部しようと考えた時期もありました。しかし6年間以上も続けてきたテニスを辞めるわけには、やるなら本気でやってみようと思ひ、体育会テニス部に入部を決意しました。今回のリーグでは選手として昇格に貢献できたことはとても貴重な体験であり、あの感動をもう一度味わうためには、この一年でどれだけ2部昇格という強い意識を持って練習するかにかかっていると思ひます。来年も選手として立教代表の誇りと自信を持って戦いたいと思ひます。チームの昇格はもちろん個人でもインカレを目指して練習していきます。



1年 平岩 佳祐

東京都立大泉高校出身、文学部教育学科一年の平岩佳祐です。

僕は中学に入学したときからテニスを始めました。しかし公立の中学だったのでしっかりと指導者もおらず、コートがあつて友達とただボールを打っているという感じでした。高校でも強くなりたいと思いテニス部に所属していたのですが思うように練習できず、大した戦績も上げられませんでした。大学では悔いを残さず納得いくまでテニスをしたいと思い体育会テニス部に入学しました。

入学して数ヶ月は大学の環境に慣れてないことから体力的にも精神的にも辛い日々が続き、体調を崩すことも少なくありませんでした。練習は中学や高校のときとは比較できないほどハードなもので、自分はこのようなハードな練習にこれからついていくことが出来るのだろうかという不安になりました。しかしそんな僕でも今まで続けることが出来ているのは、いつも励まし合える先輩たちがいて、辛いときに優しく接していただいた先輩方がいたからです。

そんな僕の当面の目標は、一步一步確実にうまく強くなり部内の誰とでも互角な試合を出来るようになることです。

現在、僕たちがこのように良い環境で練習できているのはOBの方のおかげです。今後ともOBの方々の感謝を忘れずに頑張っていきたいと思えます。



1年 森 健一

立教新座高校出身、文学部日本文学科一年の森健一です。

私は高校では野球部に所属していましたが、大学に入り高校3年の時よりスクールに通っておりました。テニスを本格的にやろうと思いついて、立教大学体育会テニス部に入ることに致しました。

入部当初は諸先輩方のテニスを見て、そのレベルの高さについていけるか心配でした。しかし、立教大学体育会テニス部に入学した以上は、自信と誇りを持ってプレーする諸先輩方に多少なりとも近づき、そしていつかは追い越せるようになりたいです。

この半年足らずで私はテニスを通じ、気持ちを強く持つことの大切さを学びました。気持ちを強く持たなければ技術的にも進歩できず、試合にも勝つことができません。それがこの前の秋季リーグの試合にも表れていたと思います。その経験をこれから自分のプレーに活かし、頑張っていきたいと思えます。

今年私達立教大学体育会テニス部男子が3部昇格できたのも、また、毎日環境のいい中で心ゆくまでテニスに集中できるのも、日ごろからのOBの方々の多大なるご支援のおかげです。心から感謝申し上げます。そして、伝統ある立教大学体育会テニス部の名に恥じぬようにこれからも日々精進し、努力していきたいと思えます。



1年 小島 あずさ

コミュニケーション福祉学部、小島あずさです。宜しくお願い致します。

私は高校でもテニス部のマネージャーをやっていたのですが、コートの環境が悪かったため十分な練習が出来ず、大会で結果を残せないうまま引退してしまいました。部員が日々努力していたことを知っていたので、なおさら悔しかったです。

この悔しさは大学に入っても消えませんでした。今度こそ皆と勝利の喜びを味わいたい。そう思い、私はマネージャーとして体育会テニス部に入学しました。

最初のうちは高校の部活との違いに戸惑い、仕事も試行錯誤の連続でした。自分はテニス部のマネージャーとしてやっていくのだから、と悩んだ時期もありました。そんなときに支えとなったのは、やはりテニス部の仲間と、昇格という目標です。このメンバーで三部昇格したい。テニス部の仲間は、私にそう思わせてくれました。

そして今年、私は初めて三部昇格という大きな喜びを味わうことが出来ました。選手・審判・ポラー・応援、全員一丸となつて昇格を勝ち取れて、本当に嬉しかったです。

まだまだ未熟な面はありますが、来年の二部昇格に向け、これからも一杯部員をサポートしていきます。OB・OGの皆様、ご支援ご声援の程宜しくお願い致します。



1年 塚田 晶子

新潟県立新発田高等学校出身、経済学部経済学科一年の塚田晶子です。

本年度、自由選抜入試で立教大学に入学しました。宜しくお願い致します。

私はスクールでしかテニスをしたことがなかったのですが、部活というものが全く知らず、立教大学体育会硬式庭球部に入学して練習のことややることすべてのことにとっても戸惑いを感じました。

私がテニス面で一番戸惑いを感じたのは常にコートがいてくださるというわけではない環境でした。スクールでテニスをしていたときは、コーチのアドバイスだけに耳を傾け、何も考えずにただやらされていただけという感じでした。しかし、今は「テニスしたらいい」とテニスのレベルに関係なく意見を出し合い、試合後には選手同士でアドバイスをし、いろんな人の意見を聞くことで、テニスの幅が広がった気がします。部活という組織に一番戸惑ったことは、先輩・後輩の上下関係と仕事で来た今では、OB・OGの方々のものすごいバックアップや歴史を、偉大な戦績や歴史を、練習を見に来ていただいたり励みをかけていただいたり様々な場面で触れ合うことで身をもって感じ、自分の立場を知り当然のことと受け止めることができるようになりました。

大学に入ってリーグを経験した今ではもうすっかり部活に慣れ、戸惑うことはありません。これからは、部活に対して積極的に取り組み、部活を通して自分を大きく成長させたいと思えます。



1年 五味 瑛利子

法学部一年の五味瑛利子です。私は今とても充実しています。実は私は夏休み前まで部を辞めたいと考えていました。先輩方はこちらの胸が痛くなるほど必死に止めてくれました。しかし、自由な大学生活への単純な憧れから、部活を続けていける大きなものを失ってしまうのではないかと不安が先立ちその気持ちを抑えることはできませんでした。しかし、それは間違いでした。夏休み朝から晩まで必死に練習し、迎えたリーグ戦。私はここで最高の喜びを感じました。「リーグ戦経験するまで辞めるな」という先輩の言葉は正解でした。チームが一体となつて目標に向かって邁進することのすばらしさ、充実感を感じました。テニス部を辞めなくてよかったと心から思いました。先輩や仲間たちのおかげです。初戦で勝利した時の喜びは今でも鮮明に頭の中に蘇ります。今年も接戦の末、残留という結果になつてしまいましたが、来年こそは今回味わった悔しい思いをバネに絶対に昇格に貢献したいと思えます。目標はレギュラー。勝つためにはテニスのスタイルも研究し、改善する必要があります。また、リーグ戦という独特な雰囲気や香まれない強い精神力の養成等々。課題は沢山ありますが、試合場でベストの自分をだせるよう日々課題克服に取り組みしていきたいと思えます。今後ともご指導をよろしくお願いたします。

リーグ戦激励会

去る九月三日(土)池袋・焼肉牛菜にてリーグ戦激励会が、多数のOB・OGのご参加をいただき開催されました。今回は焼肉をほおぼりながら現役との楽しい会食となりました。また、激励会開催に対し多くのOB・OGの皆様より過分なるご寄付をいただきました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

小中高大 合同練習会

去る、十一月二十三日(水)、立教小学校、立教大学までのテニス部合同練習会が立教池袋中学テニスコートにおいて開催されました。

今年から立教女学院も参加し盛大な練習会となりました。

コート陣の熱心な指導により充実した一日となりました。参加した高校以下の生徒達には、一人でも多く大学テニス部に入り活躍してくれる事を期待しています。

ホームページ開設のお知らせ

テニス部では最新の情報、試合結果等をインターネットにて公開しております。是非ご覧下さい。

<http://www.sptc-rikkyo.net>

ポスター・カタログ・パンフレット等
カラー印刷物のご用命は

和宏印刷株式会社

〒115-0051 東京都北区浮間5丁目17番20号
TEL 03 (3969) 9 4 8 1 (代表)

浅見 豊 (S49年卒)

optics house of アイファッションと難しいメガネの専門店

王子メガネ

〒114-0002 東京都北区王子1-9-1 電話 3913-1549
48年卒 内原 康雄

(各種コンタクトレンズ・補聴器取扱っております)

<http://www.oji-megane.com>

テニスを通じて
コミュニケーションラリーをめざす

フミカテニスショップ

- 池袋店 (西武百貨店8階) ☎ (03) 5992-8944
- 新宿店 (伊勢丹百貨店新館6階) ☎ (03) 3352-0124
- 品川店 (品川プリンスホテル内238) ☎ (03) 3447-3068
- 外販部 (本社内) ☎ (03) 5930-8881

フミカテニススクール

- 相模園会場 (京王線仙川) ☎ (03) 3307-9203
- トムインドア会場 (中央線豊田) ☎ (0425) 85-0201
- スバ白金会場 (港区白金台) ☎ (03) 3444-5811
- 市川会場 (京葉線市川塩浜) ☎ (0437) 99-8383
- 高井戸会場 (京王線の頭線高井戸) ☎ (03) 3333-7842

あなたのテニスコンサルタント

フミカスポーツ

〒160-0081 東京都杉並区宮前2-14-28
TEL 03 (5930) 8881
FAX 03 (5930) 8882

平成17年度年会費ありがとうございました。

11月15日現在

卒年 OB 氏名 (敬称略)

- 26 迫 哲夫 飯塚 繁
- 27 岸本俊二 一條正志
- 30 向井昌男
- 31 森 恵
- 32 永山勝三 辻本正司 宮岸 武
- 鈴木有恒
- 33 藤林勇雄 矢部治道 飯島一雄
- 川上 岳
- 34 瓦林聖児 飯郷七郎 小田原正直
- 井上隆二 副島光彦 井田悦夫
- 金田藤正
- 35 仲井一浩 河内進
- 36 柘植鉄次 山中博司
- 37 鎗田秀雄 安部直之 栗田進伍
- 河野貞夫 小西一三 安達正純
- 38 合瀬武久 近藤紘二 田口雅一
- 橋本 宏 下村直史 広瀬 武
- 西宇明男 松波幹忠 倉光 純
- 西山憲一
- 39 高橋道男 石黒 潔 玉置秀雄
- 伊藤正信 唐沢靖治
- 40 井上詔夫 町田昭雄 平井克忠
- 田口壮治 末藤朋昭
- 41 川口隆史 大田洋一 深尾昌利
- 木口邦彦
- 42 倉光 哲 濱野公哉 出口誠之
- 原田正明 昇 文彦 豊田資朗
- 43 沢松忠幸 若杉正明 佐藤俊彦
- 三浦充行
- 44 占野靖宗 須田健治 志田充顕
- 小長井彰 富田次郎
- 45 宇野 治 五十嵐哲男 佐藤雄三
- 46 笠原賢次郎 日高啓吾 安田 清志
- 47 加藤雄一 安達幸男 若井新司
- 中矢真人
- 48 内原康雄 清水春海
- 49 浅見 豊 今井広幸 武藤憲二
- 50 梅田憲司 井畑 清 中島幸彦
- 立野公一 大里有二
- 51 鈴木一広 佐藤信夫
- 52 鈴木 宏 石上富一

卒年 OB 氏名 (敬称略)

- 53 山下哲夫 鷲田典之 井筒浩平
- 54 加倉井 理 鈴木康正 秋元英晴
- 岩立文雄 原田 豊 角野俊平
- 久保勝延
- 55 渡辺 薫 大塚直人 金原 厚
- 松村隆司
- 56 早川寿美 岸本 誠 竹石敬之
- 57 伊藤久幸 平山 元 坂井邦夫
- 高橋宏幸 田鍋文啓
- 58 庄野俊夫 井上勇人 染谷孝幸
- 田淵浩史 旗 栄一郎 竹下喜六
- 上杉信久 大井洋隆
- 59 藤井孝信 阿部弘行
- 60 笠原康司 高橋守種 横山 浩
- 沢井清隆 藤原誠之
- 61 大岡史直 佐藤昭一 山田彰彦
- 石川 順 清宗一男
- 62 柴原公博 折田浩介
- 63 新谷守夫 最賀智正 清隆一郎
- 上杉 佐 高山和則
- 平 1 武市広治 青山貴志 中島宏誌
- 2 東樹秀明 白寄誠爾 山田 昇
- 昆野 敦 田中周作 渡辺和正
- 3 小島敏正 木村達彦 柳内 崇
- 戸田雅道 丹司 均
- 4 増田哲也
- 5 保泉 敦 片岡 聡 深澤伯亮
- 金子 誠 後藤 孝 相見典祐
- 二塚圭介
- 7 太田 治 中川孝博 千葉泰久
- 小保光司 青崎琢弥 宮本匡彦
- 8 山崎雄一郎
- 9 久々湊仁彦 神藤浩史 阿部宏
- 10 岡 利之 村木祐介 吉崎太二
- 桑田博史 大熊隆史
- 11 高田健太郎 大野潤三
- 12 齊藤征爾 真田康志
- 14 戸田 淳 豊住浩史
- 17 嶋津 亮

卒年 OG 氏名 (敬称略)

- 36 野田昌子 八木下紗絵子
- 38 松平紀代
- 39 笹山俊子
- 40 川上浩子 菅原弘子
- 41 松田弓子
- 42 杉澤小百合
- 43 林田千史 片山康子 大倉田鶴子
- 斉藤弘子
- 45 木本美代子 古庄篤子 長濱町子
- 倉科鈴恵
- 47 伊藤美枝子
- 50 飯塚圭子
- 52 吉川裕子
- 53 吉原典子 山下実果 小泉恵子
- 54 山田優子 戸松まさみ 村田由子
- 堤千賀子
- 55 福嶋由起 山下節子 黒坂美也子
- 坂井裕美 大久保直子
- 57 稲田菜穂子
- 58 山下真左子 池田由紀子 後藤悦子
- 59 永田良子 藤原亜美 山森涼子
- 60 加藤尚子 岡崎美穂
- 平 1 島田千代 近藤和子
- 3 岡本祐子
- 4 西村恵美 吉川かおり
- 5 加藤明見
- 6 山崎江津子
- 7 吉田 涼
- 10 島中暁子 金谷美幸
- 11 山崎真由美 塩沢ちえり
- 12 平原二三子
- 14 吉井悠子 中條奈保子 寺岡佑希子
- 16 油木淳子 佐々木ひとみ 鈴木郁絵
- 17 黒崎由紀子 太田佳世子 井口郁子

立教大学体育会テニス部男子名簿

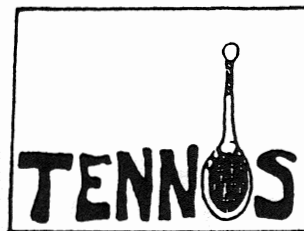
学年	学部	学科	役職	氏名	出身校
4	社会	社会		野村 陽介	城北
	観光	観光		山田 英一	県立小松
3	法	政治	主将	五味 晃一	立教新座
	社会	産業関係	主務	阿部 研人	明治学園
	法	国比	副将	高橋 泰洋	浦和学院
	経済	経営	副将	都筑 亮太	県立高崎
	経済	経営		鐘木 悠生	渋谷幕張
	経済	経営		神山 直樹	立教新座
	経済	経営		川名 啓明	県立湘南
	文	キリスト教		長尾 良麻	本庄東
2	観光	観光	マネ	岡本 佳奈	洗足学園
	観光	観光	副務	佐藤 智哉	県立水戸第一
	法	国比	副務	高橋 真也	県立春日部
	法	法		柄内 佑樹	立教池袋
1	経済	経営		藤井 彬	サレジオ学院
	経済	経営		大神 裕作	県立港南台
	経済	経営		柏原 啓大	國學院久我山
	経済	経営		田村 浩紀	都立日野台
	経済	経済		永田 佳彬	県立湘南
	経済	会計ファイナンス		根本 夏海	県立多摩
	法	法		林 大祐	立教池袋
	観光	観光		平岩 佳祐	都立大泉
	文	教育		森 健一	立教新座
	文	日文		小島 あずさ	県立鎌倉

立教大学体育会テニス部女子名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校
4	文	仏文		久木田 安奈	香蘭女子
	経済	経営		磯崎 美希	白百合
	社会	現文		根岸 芳恵	立教大学院短大
	理	化学	主将	福田 恭子	國學院
3	コミ福	コミ福	主務	浦井 美雪	県立新潟
	観光	観光	副将	戸澤 夕葵	藤村女子
2	文	心理	副務	松本 奈穂子	県立宮城野
	経済	経済		塚田 昌子	県立新発田
1	法	国比		五味 瑛利子	県立鎌ヶ谷

田口壮治先輩 (昭和四十年卒)
平成十七年十月十一日

訃報



ライフインタープライズ株式会社

〒121-0801
東京都足立区東伊興2-17-10
TEL:03-3856-9910
FAX:03-3856-3496

- <業務内容>
- ◆競走馬輸送、建設資材輸送(一般貨物運送業)
 - ◆LOC倶楽部(地方競馬オーナーズクラブ)
 - ◆損害保険、生命保険代理店業

(昭和58年卒 井上 勇人)



BREITLING 1884

(昭和55年卒 金原 厚)

ブライティング・ジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目7番22号 芝公園ビル TEL 03/3436-0011
FAX 03/3436-0012

新潟 魚沼直送! 無投薬健康豚
手造り温か料理の店

椿 三十郎

沖縄風塩漬け肉の炙り 日替わり海鮮と一夜干し
名物 豚めし 手造り燻製ベーコン
本格焼酎 90種類

営業時間 18:00~4:00 年中無休
東京都豊島区西池袋1-40-5 名取ビル3F
tel 03-5951-3355
e-mail tsubaki_sanjuro2@fic-in.com
http://r.gnavi.co.jp/g241901/